

注目すべき島根県のガ数種2011

三 島 秀 夫*

Some noteworthy moths from Shimane Prefecture

Hideo Mishima

現在、三瓶自然館で保管している島根県産昆虫標本のうち、2011年までに採集された鱗翅目：ガ類のなかで初記録種や数が少ないものなど、注目すべき種類について以下記しておきたい。

Crambidae ツトガ科

Hellula undalis (Fabricius, 1781)

ハイマダラノメイガ

大田市大田町大田

2006.x.27 1ex.

三島秀夫 採集



○北海道、本州、四国、九州に分布。夏に羽化した成虫は洞窟や坑道などに入り、そのまま越夏越冬したのち翌春交尾産卵すると考えられているが、詳しいことは分かっていない。島根県初記録。生活史が特異であるため、県内での周年経過など興味深い。幼虫はクマヤナギ、クロウメモドキにつくとされる。この個体はコウモリ調査の際、間歩と呼ばれる銀採掘の坑道跡で得られたものである。



○ほぼ日本全土に分布し、幼虫はアブラナ科野菜を食害するいわゆる害虫なので農業関係者などにはよく知られているかも知れない。しかし県内における採集記録としてはおそらくこれが初めてとなる。幼虫越冬、成虫は年に3回から6回発生するといわれる。

Geometridae シャクガ科

Triphosa sericata (Butler, 1879)

マエモンオオナミシャク

邑智郡邑南町久喜鉱山大横谷間歩

2011.x.27 1ex.

井上雅仁 採集



Noctuidae ヤガ科

Trichoplusia ni (Hubner, [1803])

イラクサギンウワバ

江津市二宮町神主

2009.viii.31 1ex.

大畠純二 採集

○世界中に分布する広域分布種。日本でもほぼ全土に分布する。幼虫はキャベツ、ハクサイ、ゴボウ、アキノノゲシなど多くの草本につくとされる。県内では今まで隠岐諸島のみで記録があった。県本土ではおそらくこれが初記録である。

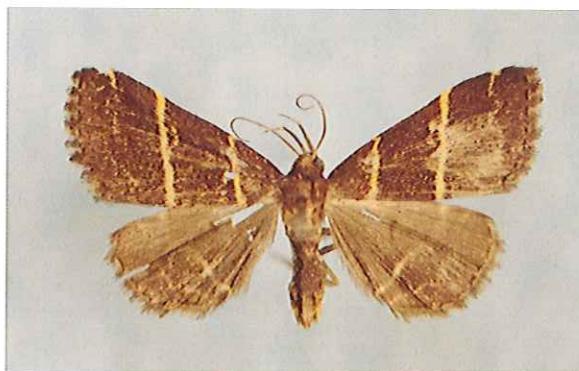
Bertula bistrigata (Staudinger, 1888)

フタスジアツバ

大田市山口町藤木

2003.viii.20 1ex.

三島秀夫 採集



○北海道、本州、四国、九州に分布。幼虫はシダ類のコバノイシカグマを食べるといわれている。本種は過去に唯一、松江市乃木の記録（近木, 1980）があるが、機会があって、その標本を実検したところ *Leiostola*

mollis (Butler, 1879) トビフタスジアツバの間違いであることが判明した。以前はトビフタスジアツバをフタスジアツバと呼んでいたために、このような混乱が生じたと思われる。したがってフタスジアツバに関しては、この個体が島根県初記録となる。

謝 辞

標本をご提供いただいた三瓶自然館井上雅仁学芸課課長代理、大畠純二客員研究員に厚くお礼を申し上げる。

参 考 文 献

- 近木英哉 (1980) 島根大学農学部に保管されている蛾類目録. すかしば, 13:1-21.
 井上 寛ほか (1982) 日本産蛾類大図鑑. 講談社. 東京.
 門脇久志ほか (1992) 島根県で採集された蛾類目録. すかしば, (37/38) 1-44.
 岸田泰則(編) (2011) 日本産蛾類標準図鑑2. 学研教育出版. 東京.
 三島秀夫・大浜洋治 (2009) 隠岐諸島の蛾類 (I). すかしば, (57): 45-104.
 三島秀夫・米浦道子 (2010) 島根県大田市久手町の蛾類. 島根県立三瓶自然館研究報告, (8): 25-32.